

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 07 06	中期総合計画主要施策番号	3-05	担当課	部・課	健康福祉部健康長寿課	
事業名	精神障害者地域移行支援事業				内 線	2643	
					E-mail	kenko-choju@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H15 ~	根拠法令等	精神障害者地域移行支援特別対策事業(厚生労働省障発053001)				
実施方法	10圏域にある障害者総合支援センターのうち5か所に、精神障害者地域移行コーディネーターを配置し地域の支援体制整備を図る。 委託先(社会福祉法人絆の会 特非ハートラインまつもと 特非上小地域障害者自立生活支援センター 社会福祉法人長野県社会福祉事業団 社会福祉法人有倫会)					国庫・県単	国庫補助事業
事業の概要等	目的(必要性)	受入条件が整えば退院可能な精神障害者が、希望する地域で安心して生活できる支援体制の整備を図ることで、社会的入院の解消を図る。					
	対 象	受入条件が整えば退院可能な精神障害者					
	目指すべき姿	医療・保健・福祉が連携し、地域の受入体制(生活の場・相談する場・昼間の活動の場等)が整備されることで、退院可能な精神障害者が安心して地域で生活することができる。					
	事業内容	精神科病院と地域の福祉関係機関等による支援体制を構築し、精神科病院に入院している方の地域移行(退院)支援を行う。 精神障害者地域移行コーディネーターの配置 関係職員のための資質向上のための研修会の実施 地域の理解促進のための普及啓発の実施					
事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳  精神障害者地域移行コーディネーターの配置 委託費:35,383 関係職員のための資質向上のための研修会の実施 地域の理解促進のための普及啓発の実施 報償費:493 需用費:72 旅費:176 役務費:75 使用料:40 (単位千円)
	最終予算額 (A)		千円	38,054	37,828	35,255	
	決 算 額 (B)		千円	36,468	36,239		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	15,194	15,060	14,030	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10	
	概算人件費 (C)		千円	832	826	826	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	37,300	37,065	36,081		
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績  (効率指標 算出式) 概算事業費/退院者数
	退院者数(成)		人	67	100	66	
	支援者数(成)		人	268	326	217	
	コーディネーター数(活)		人	10	6	5	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 退院者1人あたりの事業費		千円	556	371	515	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分  <b>b</b> 期待どおり
	・精神科病院入院者のうち、障害福祉計画における目標退院者数:230人(H18~H23年度 累計)			H23年度末において退院者数:356人(H18~H23年度 累計)			
事業の課題	区 分		判 定・説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	支援対象者数も増加し、退院支援の実績は上がっている。しかし、自立支援法の改正によりH24からコーディネーターの業務内容が対象者への直接支援から地域の基盤整備へと重点が移ってくることから、直接コーディネーターが支援し退院する患者数は減少すると考える。地域の基盤整備の効果判定として、自立支援法の個別給付による地域移行した者の数を市町村から上げてもらい、間接的に評価していく必要もある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)		障害福祉計画において、23年度までに230人の退院を図るため、19年度から配置したコーディネーターの活動が精神科病院、地域関係者に理解されてきた。 今後は、居住の場に関する支援をさらに充実していくことに加えて、医療分野において緊急時の対応の整備、新たな長期入院者を増加させない取組等が必要になってくる。 そして、退院者の内入院期間が1年未満の平均退院率の増加と入院期間が5年以上かつ65歳以上の退院者数を増加させることを目指す。				
	特記事項						